



令和2年度当初予算
令和元年度2月補正予算(14か月予算)の概要

令和2年2月
福岡県



令和2年度当初予算のポイント

- 令和元年度2月補正予算(経済対策)と一体となった**14か月予算**を編成する。
- **豪雨災害の復旧・復興**を加速するとともに、**防災減災**に取り組む。
- 少子高齢化・人口減少、第4次産業革命の進展、人生100年時代の到来という時代の変化に対応し、地方創生の実現に向け、県民の誰もが**住み慣れたところで「働く」「暮らす」「育てる」**ことができる**地域社会**をつくっていく。

一般会計歳入歳出規模

当初予算 **1兆8,517億円** (前年度比659億円、3.7%増)

14か月予算 **1兆8,848億円** (前年度比990億円、5.5%増)

(当初予算、14か月予算
ともに過去最大の規模
(平成28年度以来))

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		2年度当初予算
	目 標	2年度見込	
プライマリーバランス	○平成29年度から令和3年度までの計画期間中に黒字化	152億円の黒字	35億円の黒字 (豪雨災害復旧・復興対策等のやむを得ない要因を除くと、377億円の黒字)
通常債残高	○令和3年度末通常債残高を平成28年度末に比べ、780億円程度圧縮	平成28年度末に比べ575億円の減	1,026億円の増 (やむを得ない要因を除くと、798億円の減)
	○通常債の発行額及び残高を毎年度確実に減少させる	前年度に比べ発行額及び残高の減少	発行額は34億円の減、残高は102億円の増 (やむを得ない要因を除くと、それぞれ49億円の減と239億円の減)
財政調整等三基金	○予期しない税収減や災害発生による支出増などへの対応に必要な残高を確保する	416億円	350億円

※ やむを得ない要因は、豪雨災害復旧・復興対策、国の補正予算対応、国土強靱化対応、減収補填債発行



一般会計予算のフレーム

単位: 億円、%

区 分	令和元年度 2月補正 (経済対策) A	令和2年度 当初予算 B	合計 (14か月予算) C=A+B	令和元年度 当初予算 D	比 較					
					当初予算		14か月予算			
					増 減 B-D	伸 率 B / D	増 減 C-D	伸 率 C / D		
歳 出	人件費		3,932	3,932	33	100.9	33	100.9		
	社会保障費		3,512	3,512	3,379	134	104.0	134	104.0	
	公債費		2,259	2,259	2,229	30	101.3	30	101.3	
	公 共 事 業 費	補助事業費	284	1,299	1,583	1,236	63	105.1	347	128.1
		単独事業費	1	680	682	726	△ 46	93.7	△ 44	93.9
		直轄事業負担金	21	243	264	257	△ 14	94.6	7	102.7
		合 計	306	2,222	2,528	2,219	3	100.2	310	114.0
	災害復旧費	21	183	204	389	△ 206	47.1	△ 185	52.5	
	行政施策費	4	2,637	2,641	2,564	73	102.9	77	103.0	
	市町村交付金等		3,591	3,591	3,031	560	118.5	560	118.5	
	その他		180	180	149	32	121.5	32	121.5	
合 計	331	18,517	18,848	17,858	659	103.7	990	105.5		
歳 入	県税等		8,901	8,901	8,213	687	108.4	687	108.4	
	地方交付税	1	2,519	2,520	2,390	128	105.4	130	105.4	
	国庫支出金	168	2,061	2,229	2,087	△ 27	98.7	142	106.8	
	県債	通常債	157	2,224	2,382	2,316	△ 91	96.0	66	102.8
		通常債	157	1,462	1,620	1,497	△ 34	97.7	123	108.2
		臨時財政対策債		762	762	819	△ 57	93.0	△ 57	93.0
	財政調整基金等三基金繰入金		54	54	18	36	300.0	36	300.0	
	スポーツ推進基金出資分		26	26		26	皆増	26	皆増	
	収支対策分		28	28	18	10	155.6	10	155.6	
	その他	4	2,759	2,763	2,833	△ 74	97.4	△ 71	97.5	
合 計	331	18,517	18,848	17,858	659	103.7	990	105.5		

歳 出

<14か月予算の概況>

- ◆ **社会保障費**は、幼児教育・保育及び高等教育の無償化等により、134億円(4.0%)の増
- ◆ **公共事業費**は、国の経済対策を活用したことにより、310億円(14.0%)の増
- ◆ **市町村交付金等**は、税制改正の影響による県税等の増収に伴い、560億円(18.5%)の増

歳 入

<14か月予算の概況>

- ◆ **県税等**は、地方消費税率引上げなど税制改正の影響等により、687億円(8.4%)の増
- ◆ **国庫支出金**は、国の経済対策を活用したことにより、142億円(6.8%)の増
- ◆ **財政調整基金等三基金**は、スポーツ推進基金出資分として26億円、収支対策分として28億円を繰り入れ

※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある。



豪雨災害の復旧・復興、防災減災

■ 豪雨災害の復旧・復興

被災した道路や河川などの復旧を加速化 375億4,718万2千円（525億7,076万3千円）

[2月補正] 53億8,227万1千円

- ・ 災害復旧と併せて、道路や河川の改良工事、砂防ダムの設置等を実施

営農再開と産地の復興を支援 7,119万9千円【新規】

- ・ 被災者に加えて新たな担い手に対し、園芸品目の生産を開始するための施設・機械の導入等を支援

被災者の住宅確保を支援 1,100万円【新規】

- ・ 仮住まいから恒久住宅への本再建を支援するため、引越費用や民間賃貸住宅入居の初期費用を助成



<河川の改良工事>

■ 防災減災

緊急輸送道路等を整備 243億5,060万7千円（254億2,721万4千円）[2月補正] 66億8,168万3千円

- ・ 緊急輸送道路を整備、道路法面の崩壊・落石対策等を実施

洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 273億4,593万8千円（291億9,413万3千円）

[2月補正] 74億1,045万円

- ・ 河川の護岸、砂防施設、地すべり防止対策施設、港湾施設等を整備

ため池、クリーク等の安全対策を実施 77億9,726万8千円（69億767万円）

[2月補正] 20億7,157万5千円

- ・ ため池、クリーク、農業用排水施設等を整備

地域防災力を強化 488万1千円【新規】

- ・ 地域で防災減災活動のリーダーとなる防災士のスキルアップ研修等を実施



<道路法面の崩壊対策>

※()内の金額は、令和元年度当初予算額



住み慣れたところで「働く」ことができる地域社会づくり

■ 中小企業の支援

中小企業向け制度融資を充実 融資総枠6,884億円を確保（うち新規融資枠3,285億円）

- ・ 事業承継の際に経営者保証を不要とする保証制度を導入
- ・ 宿泊事業者による観光客受入環境向上のための施設整備を融資対象に追加

現場の実態とニーズを踏まえて中小企業の生産性向上を支援 1億5,098万7千円（1億432万7千円）

- ・ 「福岡県中小企業生産性向上支援センター」において、企業診断から設備導入までの一貫した支援を実施

第4次
産業革命

地域商品券による地域経済の活性化を支援 4億1,395万8千円（3億6,617万7千円）

- ・ 商工会議所・商工会や商店街が行うプレミアム付き地域商品券の発行を支援 [発行規模：81億円]
- ・ 複数の発行団体での共通利用や専用アプリによるキャッシュレスの新型商品券の発行を支援 [発行規模：4億円] **【新規】**

■ 先端成長産業の振興

ベンチャー企業を支援 1,755万7千円【新規】

- ・ 福岡県ベンチャービジネス支援協議会において、県内の総投資額の目標設定・進捗管理、会員の拡充、
情報発信の充実を実施
- ・ スタートアップ企業を対象に合宿形式の研修会を開催
- ・ バイオ、IoT等の先端技術やモノづくりなどの産業分野に特化したフクオカベンチャーマーケットを開催



＜フクオカベンチャーマーケットの様子＞



＜キャッシュレス商品券の
利用イメージ＞

最新技術を活用した製品・サービスの開発を支援 1,746万8千円【新規】

- ・ 急成長が見込まれる「ブロックチェーン」技術を活用したビジネス展開を促進するための研究会を開催 第4次産業革命
- ・ 本県発の宇宙関連機器や衛星データ利用サービスの開発を促進するための研究会を開催
- ・ I o T 関連製品の量産化を図る企業を支援 第4次産業革命



北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを推進 5,052万円 (4,572万9千円)

- ・ 次世代自動車の電子・電装分野への参入を目指す企業の技術習得を支援 【新規】

バイオ産業の拠点化を推進 [2月補正] 3億9,836万3千円

- ・ 研究開発から試作・製造まで一貫した支援を行うインキュベーション施設を整備

水素エネルギー分野への参入を強化 251万4千円【新規】

- ・ 再生可能エネルギー電力の水素貯蔵に必要な水電解装置の製造への参入を促進するための研究会を開催

有機EL等次世代発光材料分野への参入を強化 700万円【新規】

- ・ 県内化学合成メーカーが行う発光材料の試作品製作を支援

航空機関連企業の誘致を促進 666万円【新規】

- ・ 航空機メーカーや大手サプライヤーに、県内企業の技術力や本県の立地優位性を P R



<バイオ産業インキュベーション施設のイメージ>

■ 稼げる農林水産業の振興

農林水産物のブランド力を強化し、販売・消費を拡大 2億8,129万6千円（1億6,633万8千円）

- ・「秋王」「早味かん」「北原早生」「甘うい」の販路を開拓 **【新規】**
- ・新品種のナシ「玉水」の早期普及と産地形成を図るための技術を確立 **【新規】**
- ・「福岡の八女茶」をロゴマークを使用して首都圏でPR **【新規】**
- ・外食・中食事業者、食品卸売業者、クルーズ船等に販路を開拓 **【新規】**
- ・複数JAの共同輸送によるコスト削減を実証 **【新規】**
- ・県庁地下食堂、県内企業社員食堂で、県産食材を使ったメニューの導入を促進 **【新規】**



<新品種のナシ「玉水」>

農林水産物の輸出を拡大 1億3,228万7千円（8,598万2千円）

[2月補正] **6億100万円**

- ・食品製造業者等に対しHACCPに対応した衛生管理施設等の整備を支援 **【新規】**
- ・農業者に対し国際水準GAPの認証取得に必要な出荷調製施設等の整備を支援 **【新規】**
- ・ベトナム、マレーシアにおける県産農林水産物の販売促進を強化 **【新規】**



<「福岡の八女茶」のロゴマーク>

スマート農林水産業を普及 1億2,639万2千円（5,590万7千円）

第4次
産業革命

- ・県内外の先進技術や活用事例を普及するためのフォーラムを開催 **【新規】**
- ・有明海におけるノリ養殖に必要な海況情報をリアルタイムに配信するための観測機器等を整備 **【新規】**



<低コスト耐候性ハウス>

園芸農業の競争力を強化 15億3,200万円（15億3,200万円） [2月補正] 23億5,452万8千円

- ・活力ある高収益型園芸産地の育成に必要な施設・機械の導入を支援
- ・コスト削減・高収益作物への転換に必要な低コスト耐候性ハウス等の導入を支援

水田農業の競争力を強化 3億1,201万9千円(2億3,783万2千円) [2月補正] 1億3,000万円

- ・ 農地中間管理機構を活用して農地集積に取り組む法人等を支援 【新規】
- ・ 広域的な農地集積を図る法人等に対し、高性能省力機械の導入を支援 【新規】
- ・ 「実りつくし」の生産拡大や新品種の大豆の普及を推進 【新規】



畜産業の競争力を強化 1億2,764万円(1億2,138万7千円) [2月補正] 1億5,944万9千円

- ・ 次世代の酪農家を育成するため、省力機械の導入や施設の長寿命化等を支援 【新規】
- ・ 経営規模の拡大等により、畜産農家、飼料メーカー、流通事業者等の収益性向上を図るため、畜舎等の施設整備を支援
- ・ C S F ・ A S F の発生予防のための設備の導入を支援 【新規】



<酪農の自動給餌機>

林業の競争力を強化 2億2,224万4千円(1億4,468万1千円) [2月補正] 2億9,410万7千円

- ・ 年間を通じて植栽が可能なコンテナ苗の生産施設の整備を支援 【新規】
- ・ 木目が美しく傷つきにくい広葉樹を活用した家具等の商品開発、販路拡大を支援 【新規】



<広葉樹(センダン)の家具>

漁業の競争力を強化 1億619万1千円(4,636万2千円)

- ・ 水産物の一次加工品を用いたフェアを開催、加工機器の整備を支援 【新規】
- ・ 漁獲データ等の効率的な収集のため、水産海洋技術センターの漁獲情報管理システムを再構築 【新規】

農業就業者の確保対策を強化 3,264万1千円(3,003万5千円) [2月補正] 3,000万円

- ・ 農業への新規参入者の確保・定着を図るため、市町村に新規就農アドバイザーを派遣 【新規】
- ・ 季節雇用や外国人材等の労働力確保に取り組む団体等の活動を支援 【新規】
- ・ 就職氷河期世代を含む新規就農者向けの研修農場の整備を支援 【新規】

■ 観光の振興、本県の魅力発信

宿泊税を活用した新たな観光振興施策を展開 11億8,989万9千円【新規】
(うち宿泊税基金 9億2,253万4千円)

〈受入環境の充実〉

- ・ 宿泊施設の魅力を向上させるため、旅館・ホテル等が実施する施設の整備を支援
- ・ 平日閑散期に観光客を呼び込むためのニーズ調査を行い、調査協力者に対し宿泊料金の割引を実施



〈宿泊施設の無線LAN環境整備〉

〈観光資源の魅力向上〉

- ・ 市町村、観光協会、地元商工会等と連携し、訪日外国人向け体験プログラムを組み込んだ旅行商品を造成
- ・ 広域サイクリングルートのご案内板、路面表示を整備



〈効果的な情報発信〉

- ・ 観光客の県内周遊促進のため、本県を訪れた旅行者にレンタカー代の一部を助成
- ・ インバウンド誘客促進のため、福岡・北九州空港から直接入国する欧米豪からの観光客の航空運賃の割引を実施
- ・ SNSでの問合せに対応し、おすすめの観光情報等を提供する「福岡県ウェブ観光案内所」を開設

〈観光振興の体制強化〉

- ・ 旅行者へのおもてなしの向上を図るため、観光ボランティアガイドや観光案内所スタッフを育成

〈市町村への財政的支援〉

- ・ 地域の実情を踏まえ、創意工夫を凝らした施策を実施するため、「福岡県宿泊税交付金」を交付



〈外国人観光客の体験風景〉

世界文化遺産の保存活用を推進 6,441万2千円 (6,929万円)

〈「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群〉

- ・ 東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、首都圏で遺産群をPR 【新規】

〈明治日本の産業革命遺産〉

- ・ 世界遺産登録5周年記念事業を実施 【新規】



〈沖ノ島〉

アンテナレストランを活用して魅力を発信 3,834万6千円 (2,443万9千円)

- ・ アンテナレストラン「福扇華」を活用して福岡県の魅力をPR



〈官営八幡製鐵所 旧本事務所〉
写真提供 日本製鉄㈱八幡製鐵所

■ 将来の発展基盤の整備

福岡・北九州空港を整備 74億538万6千円 (65億1,354万1千円)

- ・ 福岡空港の滑走路を増設
- ・ 北九州空港の滑走路の安全性を確保

北九州空港の利用を促進 5億2,232万円 (5億4,832万4千円)

- ・ 旅客路線や貨物路線の新規就航・定着を支援



〈大韓航空の貨物専用機〉
(北九州空港)

三池港の利用を促進 5,536万5千円 (3,368万5千円)

- ・ 三池港の利用の安定・拡大を図るため、国際コンテナ定期航路運行の船社や利用荷主を支援 【新規】

基幹的道路を整備 156億6,106万8千円 (156億6,314万7千円)

- ・ 産業振興の基盤となる基幹道路網を整備 (国道442号筑後バイパス、新北九州空港線ほか)

下関北九州道路の実現に向けた取組み 360万円 (359万7千円)

- ・ 国による下関北九州道路の調査に合わせ、経済影響などを調査



〈コンテナ船入港の様子〉



住み慣れたところで「暮らす」ことができる地域社会づくり

■ 県民の健康づくりの推進

健康づくり県民運動を推進 1億3,088万8千円(8,145万5千円)

100年
グッドライフ
福岡県

- ・市町村が実施する運動習慣定着のための取組みを支援
- ・県営公園においてスロージョギング大会を開催 【新規】
- ・「ふくおかヘルシーメニュー」を活用した料理教室を開催 【新規】
- ・県庁地下食堂においてヘルシーメニューを提供 【新規】

ひきこもり状態にある人を支援 2,794万1千円(824万4千円)

- ・「ひきこもり地域支援センター」のサテライトオフィスを筑豊地域、筑後地域に設置
- ・ひきこもりサポーター養成研修会を開催

がん等の患者を支援 805万2千円【新規】

- ・造血幹細胞移植で免疫が低下した人のワクチン再接種費用を助成する市町村を支援



<スロージョギングの様子>

■ スポーツ立県福岡の推進

100年
グッドライフ
福岡県

「福岡県スポーツ推進基金(仮称)」を創設 26億4,023万円【新規】

- ・トップアスリートの育成、大規模スポーツ大会の誘致・開催等を図るため、「福岡県スポーツ推進基金(仮称)」を創設

「福岡県スポーツコミッション(仮称)」を設置 2,271万7千円【新規】

- ・スポーツツーリズム推進や大会・合宿誘致を行うため、官民が連携して「福岡県スポーツコミッション(仮称)」を設置



<事前キャンプ地での交流>

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運を醸成 5億1,417万8千円(1億4,307万円)

- ・県内各地を巡る聖火リレーを実施
- ・1か月前イベント、県内ゆかりの出場選手による県民報告会を開催 【新規】

障がい者スポーツを推進 971万4千円【新規】

- ・ 障がいの種別を越えた県内最大級の障がい者スポーツ大会を開催
- ・ 水泳を指導するコーチ等を養成、有望な障がい者アスリートを発掘し強化練習会を実施



<福岡県障がい者スポーツ大会>

■ 文化芸術の振興

100年
グッドライフ
福岡県

新・県立美術館基本計画を策定 3,093万5千円【新規】

- ・ 新たに建設する県立美術館のコンセプトや必要となる施設、設備、運営体制等を定めた基本計画を策定

■ 女性、高齢者、障がいのある人の活躍推進

企業における女性の活躍を推進 7,442万1千円 (5,693万円)

- ・ 女性経営者等の業界横断的な「女性活躍交流会議（仮称）」を開催 【新規】
- ・ 運輸業における現状、課題、ニーズ等に関する調査を実施 【新規】
- ・ 子育て女性の就職支援のため、求職登録等ができるようにホームページを改修



<70歳現役応援センターの就職相談の様子>

70歳現役社会の実現に向けた取組み 1億6,997万5千円 (1億6,509万2千円)

- ・ 健康測定会と併せて行う「いきいきシニア就業相談会」を実施 【新規】

100年
グッドライフ
福岡県

障がいのある人の自立と社会参加を支援 1,974万9千円【新規】

- ・ テレワークを活用した障がい者雇用を促進するため、支援員を配置したコワーキングスペースを開設
- ・ 障がい者施設に対する経営指導及び農業分野等での共同受注の推進により、障がいのある人の工賃向上を支援
- ・ スポーツ・文化イベントと連携したまごころ製品販売会を実施

■ 就職・仕事の支援、働き方改革の推進

若者・就職氷河期世代の就職を支援 4,420万6千円 (2,017万4千円)

- ・ 心理相談や基礎能力講座を行う若者サポートステーションの支援対象年齢を引上げ[39歳まで→49歳まで] 【新規】
- ・ 不安定な就労状態にある人の正社員就職実現に向け、社会人インターンシップを実施 【新規】
- ・ 若者の早期離職防止のため、就職後のフォローアップを実施 【新規】
- ・ ひきこもり状態にある人や長期無業者に対し支援員が訪問し、就労に向けた生活習慣改善等段階に応じた支援を実施

外国人材の受入体制を整備 2,635万1千円 (2,347万7千円)

- ・ 「技能実習」や「特定技能」により来日した外国人に対する日本語教室を運営する市町村等を支援 【新規】

介護人材の確保・定着を支援 7,464万5千円【新規】

- ・ 福祉機器を適切に使い介護の負担を軽減する「ノーリフティングケア」を普及するため、介護施設への研修を実施
- ・ 介護事業所におけるケア記録等の業務を効率化するため、ICT機器の導入を支援

第4次
産業革命

企業における働き方改革を推進 1,651万4千円 (1,427万5千円)

- ・ 魅力ある職場づくりに向けた実践的な研修を県内4地域で実施

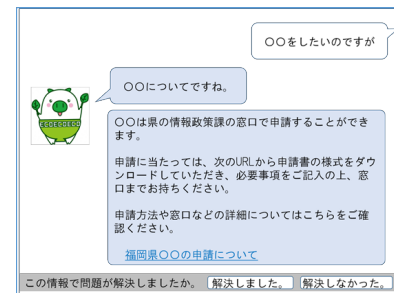
最新技術により県庁行政事務を効率化 1,017万5千円【新規】

第4次
産業革命

- ・ インターネット経由の問合せ等に対し、AIチャットボットによる総合案内サービスを実施
- ・ 共通業務にRPA (Robotic Process Automation) を導入し、業務効率化を推進



＜ノーリフティングケア研修の様子＞



＜AIチャットボットのイメージ＞

■ 徹底した治安の確保

飲酒運転撲滅対策を強化 437万6千円【新規】

- ・ 若年世代等に飲酒運転の危険性、悪質性及び代償を啓発する情報発信を強化

性暴力対策を強化 4,639万6千円(699万5千円)

- ・ 児童・生徒への教育等を行う「性暴力対策アドバイザー」を学校等へ派遣 【新規】
- ・ 「性暴力被害者支援センター・ふくおか」にプレイセラピールームを設置、子どもの被害に対応する専門相談員を配置 【新規】
- ・ 加害者相談窓口を新設し、加害者の社会復帰を支援 【新規】

ストーカー・DV対策を強化 436万6千円【新規】

- ・ 被害者と警察官がリアルタイムで監視できる防犯カメラを導入

二セ電話詐欺対策を強化 122万9千円【新規】

- ・ 金融機関に二セ電話詐欺への警戒を呼びかけるオートコールを導入

子どもの安全対策を強化 1,125万8千円(578万9千円)

- ・ 大声測定器を使って危険回避に効果のある防犯教育を実施 【新規】
- ・ 生活道路の安全運転を徹底するため、可搬式速度違反自動取締装置による取締りを強化

高齢者の安全運転を推進 3,523万円(1,583万3千円)

- ・ 高齢運転者等の安全運転や免許証の自主返納を促進するため、運転免許試験場に相談対応を行う医療系専門職員を配置 【新規】
- ・ 免許証の自主返納者にバス回数券、タクシー乗車券等を交付する市町村を支援

地域防犯力を強化 2,181万9千円(1,735万2千円)

- ・ 地域の危険箇所に関する情報を防犯団体等で共有・活用する「デジタル防犯マップ作成支援システム」を開発 【新規】
- ・ 街頭犯罪防止のため防犯カメラを設置する市町村を支援
- ・ 地域団体等が実施する研修会、講習会に「安全・安心まちづくりアドバイザー」を派遣



<可搬式速度違反自動取締装置による取締り>

■ 快適な生活環境の整備

空き家の活用・処分を促進 3,297万8千円【新規】

- ・ 空き家所有者等に対し活用・処分方法の提案から専門事業者とのマッチングまでの支援を行うため、「空き家活用サポートセンター（仮称）」を設置

買い物弱者を支援 1,180万4千円【新規】

- ・ 交通手段や店舗の状況など、地域の実情に応じて市町村が行う事業の構築に向けた取組みを支援
- ・ 地域のスーパー等が実施する移動販売を支援

地域の生活交通を確保 819万1千円【新規】

第4次
産業革命

- ・ 予約に応じて配車、運行ルート計算をAI等が行うオンデマンド交通システムをコミュニティバスに導入する市町村を支援

県有施設のキャッシュレス化を推進 528万4千円【新規】

- ・ 県有施設の利便性向上のため、キャッシュレス決済を導入

■ 資源の有効活用の推進

風力発電の普及を促進 716万4千円【新規】

- ・ メンテナンス技術者を養成する職業訓練のカリキュラム等を検討する協議会を設置
- ・ 風力発電産業への参入を促進するため、風力発電産業の最新動向等を紹介するセミナーを開催

プラスチックの資源循環を促進 6,756万2千円【新規】

- ・ 県民や事業者に対し3Rの取組みを促す「ふくおかプラごみ削減キャンペーン」を実施
- ・ 使用済みプラスチックの高度なリサイクル施設を整備する事業者を支援



<風力発電設備>





住み慣れたところで「育てる」ことができる地域社会づくり

■ 子ども・子育て支援の充実

幼児教育・保育の無償化を実施 119億9,019万円 (57億8,614万4千円)

- ・ 子育て世帯を支援するため、幼稚園、保育所等の保育料を無償化

児童相談所の体制を強化 1,453万4千円【新規】

- ・ 児童虐待防止対策の強化を図るため、児童福祉司の増員等に対応した福岡児童相談所の改修に着手

里親養育等を推進 6,669万7千円【新規】

- ・ 里親委託を推進するため、NPO等を活用し里親の新規開拓や里親委託後のフォローアップ等の継続的な支援を強化
- ・ 里親委託児童等の高校進学、就職に係る費用の一部を助成

新生児聴覚検査体制を充実 707万4千円 (9万5千円)

- ・ 療育開始までのフォローアップ、相談支援等を実施する「乳幼児聴覚支援センター(仮称)」を設置【新規】

■ ふくおか未来人財の育成

県立学校のICT環境を整備 3億6,225万3千円 (3億9,154万円) [2月補正] 15億1,746万円

- ・ 児童生徒の情報活用能力を高めるため、校内通信ネットワークやタブレット型パソコン等を整備

地域と一体となった学校づくりを推進 1億6,829万1千円 (8,655万8千円)

- ・ 小中学校区でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する市町村を支援
- ・ 「ふくおか教育月間」(11月)に、社会全体で子どもを育む機運を醸成するためのイベントを開催【新規】

小・中・高校の教育相談体制を強化 4億2,441万9千円 (2億5,740万3千円)

- ・ 児童生徒等へのきめ細かな心のケアを行うため、スクールカウンセラーの配置を拡充

高校生等の修学を支援 236億5,702万8千円 (189億560万4千円)

- ・ 家庭の経済状況にかかわらず安心して教育を受けることができるよう、高校の授業料を実質無償化
- ・ 高校専攻科の授業料等の減免を支援【新規】

高等教育の無償化を実施 34億3,729万3千円【新規】

- ・ 学ぶ意欲のある学生が経済的理由により修学を断念することがないように、県立三大学、私立専門学校の授業料及び入学金の減免を支援



＜フォスタリングマーク＞
(里親制度の普及、里親養育を支えるネットワークづくりのシンボルマーク)



＜タブレット型パソコンを使った授業＞



＜地域の協力による総合的学習の授業＞